

## Anti human RXR $\alpha$ mouse monoclonal antibody

RXR $\alpha$ : Retinoid X Receptor  $\alpha$ 

製品コード PP-K8508-00

Clone No. K8508

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2B1

Genbank X52773

由来 ヒトRXR $\alpha$  (2-133 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

特異性 ヒト RXR $\alpha$  と特異的に反応する。ヒトRXR $\beta$ ,  $\gamma$  には反応しない。マウスおよびラットRXR $\alpha$  と交差反応する。

精製法 硫酸塩析法

溶媒 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot 可  
参考使用濃度 2  $\mu$ g/mL

非還元 Western Blot 未検討  
参考使用濃度 -

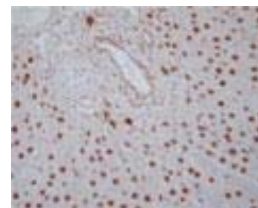
ELISA 可  
参考使用濃度 0.1  $\mu$ g/mL

免疫沈降 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

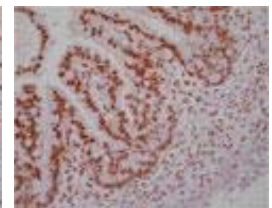
Supershift Assay 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

クロマチン免疫沈降 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

免疫染色 可  
参考使用濃度 10-20  $\mu$ g/mL



ラット  
肝臓  
パラフィン切片



ラット  
腸  
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Suh JM, *et al.* Mol Endocrinol. 2006; 20(12): 3412-20  
Qin J, *et al.* Dev Dyn. 2007; 236(3): 810-20

備考 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Jul 30, 2009